

「健康ひのはら21（第4次）」（素案）に対する意見の内容及び検討結果

該当箇所	意見の内容	
<p>P25. 26 日常生活において 8,000 歩以上歩いている人の割合</p> <p>P16. 18 外出機会、運動頻度のアンケート</p> <p>P34 目標2</p>	<p>東京都(20歳～64歳男性)の1日平均歩数は8,611歩(平成28年国民健康・栄養調査結果の概要 厚生労働省 2017)との調査結果がある。檜原村は日常生活において移動に車が必須であり、歩く機会が少なくなりがちであることが推測されます。</p> <p>アンケート結果によると、外出機会は減少した一方で運動を行っている割合が増えています。</p> <p><u>今後、日常生活において1日 8,000 歩以上歩いている割合を増やすために日常の生活習慣の面で改善が見込まれる場面の想定があれば伺いたいです。</u></p> <p>子どもの遊びを通じた運動の取り組みはとても重要であると考えます。</p> <p>近年の子どもの遊びや運動の環境で「3つの間」(時間・空間・仲間)が不足しているといわれています。</p> <p>実現に向けた行政の取組の中にある、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他課と連携し、運動やスポーツを通じた地域の交流機会の情報提供等を推進します。 ○学校と連携し、運動・体力づくりを推進します。 ○健康推進員活動を後方支援します。 <p><u>上記の取組について、3つの間(時間・空間・仲間)を創る観点から、各機関とどのような連携・推進・支援が考えられるか、具体例があれば伺いたい。</u></p> <p>恥ずかしながら、今回の「健康ひのはら21」の素案を見るまで、</p>	<p>1日8,000歩以上歩くことは、村の道路状況等地域の特性としても難しいと認識しております。運動については、各健康教室において日常に取り入れ易い運動、在宅で気軽にできる運動等きめ細かなシステムづくりに取り組みます。</p> <p>村の地域特性により、子どもが遊べる、運動ができる場所というのが限られています。現状でできる対応として、最も合理的に実施できるのは学校であり、学校と連携し、子どもの運動・体力の向上に取り組むことが重要と考えます。また、家庭および地域、健康推進員活動等一体的な子育て支援に取り組みます。</p>

健康推進員の存在や活動を存じ上げませんでした。

現在、地域おこし協力隊として活動しておりますが、任期後はSDGs 持続可能な暮らし(特に環境・健康面)を提案し広げるイベントやワークショップ、若者(子ども)の居場所(遊び・体験・学び)づくりをしたいと考えています。また檜原歩き健康マップ(仮)として、目的地までの目安となる歩数や消費カロリーを掲載したマップを作成してみたいと考えております。(例:役場～払沢の滝 ○○歩○○kcal)

将来の檜原村の健康に向けて、微力ながら一緒に取り組んでいきたいと考えております。今後ともよろしくお願い致します。